



2018年2月 第434号

スズキ労連

2018年
2月号

スズキ関連労働組合連合会
静岡県浜松市南区増楽町20
電話(053)447-3079 FAX.053-440-2838
発行人 武藤憲司
編集人 小松秀忠

第69回中央委員会開催!

『2018年総合生活改善』
取り組み方針を決定。

スズキ労連は1月19日(金)18:00より、SUN会館大会議室にて第69回中央委員会を開催しました。スズキ労連の各加盟組合から中央委員89名(男性71名、女性18名)・傍聴者62名(男性45名、女性17名)が参加し、第一号議案『2018年総合生活改善の取組方針(案)』の審議を行い、第二号議案『第25回参議院議員選挙(比例代表)候補予定者推薦の件』、共に満場一致で決定しました。各組合では、今後この方針に基づいて職場討議を行い、独自の要求を組み立てていきます。



本中央委員会の女性参加比率は、中央委員20.2% 傍聴27.4%でした。

各組合の女性参加者は自動車総連男女共同参画 新・第1次アクションプログラムに基づき、中央委員、傍聴とも労連の女性組合員比率の13.6%を努力目標としています。今回は多くのスズキ労連女性委員にも参加頂きました。

『2018年総合生活改善の取組み』具体的要求内容 一抜粋一

1.賃金引上げ

①平均賃金要求

すべての単組は、現状の賃金水準を維持するため、賃金カーブ維持分を確保する。求める経済・社会の実現、現下の産業情勢を踏まえ、格差・体系の是正と、労働の質の向上に対する成果配分を求めるべく、3,000円以上の賃金改善分を設定する。なお、直接雇用の非正規労働者の賃金についても、原則として、時給20円を目安とした賃金改善分を設定する。

②個別ポイント絶対水準要求

- ・技能職中堅労働者(中堅技能職)の現行水準を維持し、水準向上や格差・体系是正に向け、各組合の判断により賃金改善分を設定する。
- ・各組合は、以下の目指すべき水準を参考に自社に合った水準への引き上げを目指す。
基準Ⅰ 272,000円 基準Ⅱ 248,000円 基準Ⅲ 240,000円

③企業内最低賃金協定の締結

18歳・・・160,000円以上

④年齢別最低補償賃金

- ・各組合は、以下の目指すべき水準を参考に自社に合った水準への引き上げを目指す。
20歳 163,000円 25歳 182,500円 30歳 212,000円
35歳 235,000円 40歳 253,500円 45歳 262,500円

2.年間一時金

- ①月数 年間5ヶ月以上を基準とする。最低でも昨年獲得実績以上
- ②要求基礎 要求の基礎は、賃金引上げ後の基準内賃金とする。
- ③最低保障制度 40%以上を基本とする。

3.働き方の改善(総実労働時間短縮を含む)

- ①所定労働時間1952時間未達組合は、その達成に向けて取り組む。
- ②有給休暇取得向上に取り組む。
- ③所定外労働時間の削減に向けて、36協定の年間特別延長時間の引き下げの取り組みを計画的に進める。
- ④改正労働基準法において、中小企業に対して適用猶予とされている月間60時間超の割増率引き上げについても、早期適用を図るべく取り組みを進める。
- ⑤労働時間に関する取り組みの基盤整備を推進

4.非正規労働者に関する取り組み

- ①組合員化した非正規労働者の労働諸条件の維持・向上に向けての取り組み
- ②企業内最低賃金協定の締結・水準の引き上げ
- ③非正規労働者の雇用のあり方と、労使でのコンプライアンスの点検を行う。

5.政策制度課題への取り組み

- 【労連/単組が行う活動】
- ・自動車総連本部主催の政策勉強会への参画
- ・自動車総連作成(発信)ツールを活用した組合役員
- ・組合員への政策理解の促進
- ・連合/地方連合等、上部団体の活動への参画

『2018年総合生活改善の取組み』スローガン採択
みんなの
一歩を踏み出そう
豊かな未来にむけて

【取り組み日程】

- 要求書提出 スズキ労組 2月14日(水)
スズキ労組以外 2月19日(月)～21日(水)
- 統一交渉日 第一回目 2月19日(月)～23日(金)
(第二回目以降は交渉ゾーンを設定)
- 回答指定日 業種ごとの課題を整理した上で、製造部品輸送部門は3月内決着を、販売部門は4月末決着を基本に取り組む。

武藤会長 挨拶(要旨)



本中央委員会は昨年9月から12月までの活動について報告を行い、2018年総合生活改善の取り組み方針を審議・決定、そして2019年7月予定の第25回参議院議員選挙の自動車総連組織内候補予定者を推薦決定する場となります。

〈取り巻く環境〉

昨年2017年を迎えた時には、1987年の世界的株価大暴落ブラックマンデー、その10年後1997年のアジア経済危機、そして、その10年後2007年のサブプライム問題と、10年おきに発生してきた世界的な経済危機の再来に不安感を覚えたことを思い出しますが、現在の世界経済は総じて緩やかな回復基調にあると言えるのではないのでしょうか。

日本経済も回復基調にはありますが、個人消費は依然として低迷しています。長引く家計の節約志向を改善していくためにも、政府が企業に賃上げを要請するというのではなく、企業や個人の先行き不透明感や将来不安を払しょく出来るような明確な政策やビジョンを示すのが政府、政治の役割だと考えます。

一方、私たち自動車産業を取り巻く環境は、自動運転、電気自動車あるいは電動化へのシフト、つながる車など、想定外のスピードで対応が求められる変革の時期に入っています。

スズキ労連加盟の企業も同様に、仮にエンジンがモーターに置き換わる、あるいは自動運転車が普及した場合、マフラーやミッションのギヤ部品、ハンドルまでもがなくなる可能性も含めて、どのように変化をしていかなければならないのかを、経営者はもちろん、私たちも労働組合の立場で、働き方、人財の育成を含め考えていかなければならないという危機感を持っています。特に、インドが2030年にEV化、電動化を推進する立場を取ったことに、経営側は相当な危機感を持っています。従って今回の取り組みは、スズキグループの好調な業績とは相反する、相当厳しい交渉になると思います。次の10年を見据えた中での交渉になるという認識をまずは皆さんと共有しておきたいと思えます。

〈賃金改善の取り組み〉

私たち労働組合が有する大きな強みの一つは、「労使関係を確立している」ということです。労使は、異なる立場から、労働条件向上のみならず、業績や企業の枠を超えた経済、産業、労働市場等についての関心を共有しながら、生産性の向上とそこから得られる成果の公正な配分を実現するために徹底した協議を重ねる、緊張と相互信頼にもとづいた関係を構築してきました。そして今次取り組みでは、この労使関係を確立している私たちこそが「底上げ・底支え」「格差是正」に昨年を引き続き継続して取り組み、さらに強める・拡げることが求められます。私たちは2014年から2017年の総合生活改善の取り組みにおいて、「底上げ」「格差是正」を着実に前進させ、賃金引上げの流れを波及する一定の役割を果たすことが出来たと考えています。特に2017年からは「大手追従・大手準拠からの構造転換」などに重点をおいて、底上げを強調して取り組んできました。春闘の歴史上、物価上昇がほとんどない中で、多くの組合で改善分を獲得したのは、初めてのことです。「底上げ・底支え」「格差是正」の実現に向けて労使協議を進め、「大手追従・大手準

拠などの構造を転換する運動」の流れの継続・定着・前進をはかり、「賃金は上がるもの」という常識を取り戻していくことが重要です。そして、これを自動車総連、スズキ労連内でさらに深め、非正規労働者も含めた社会全体に広げていく必要があります。

あわせて、「サプライチェーン全体で生み出した付加価値の適正循環」についても継続して取り組む必要があります。取引条件や価格は賃金だけではなく、働き方でも働く者の立場とつながっています。自分達の働き方の見直しや長時間労働の是正を通じ、自分の職場だけでなく、企業を超えて、仲間の働き方の改善につなげて行くことは、まさに労働運動ならではのアプローチであります。もちろんその前提の取り組みとして、職場労使による働き方改革を一層強化していくべきことは言うまでもありません。長時間労働是正や同一価値労働同一賃金など雇用形態間の均等待遇の実現などをはじめとする「働き方改革」も、私たち労働組合の立場で先頭を切って進めなければなりません。今次取り組みにおいては、強固な日本経済の構築に向け、生産性三原則の実践による「人への投資」を実現すべく、賃金の引き上げ「底上げ」・「格差是正」に取り組んでいきたいと思えます。具体的には、スズキ労連が一体となって取り組める要求基準として、3,000円以上の賃上げに取り組むことを提案したいと思えます。生産性の向上は経済成長の源泉ですが、適正な成果配分がなければ、真の経済成長にはつながりません。そして、私たちが目指している生産性向上運動は、単純な効率化を目標としたものではありません。人間尊重を基本として、経済・企業の発展ためには、生産性向上に関する経営と労働の協力が必要であり、そのことが労働者の経済的・社会的地位の向上をもたらす、という考え方に基づくものであります。今次取り組みにおいても経営側は、国内外での競争激化や先行き不透明感から、コスト・労務費の削減など「人への投資」を抑制してくることが予想されますが、それでは個人消費の活性化につながりません。と同時に、働く者の意欲や活力、そして希望が失われ、企業競争力の最大の源泉を削ぐことにつながります。経営者には、皆の努力で生み出した付加価値を働く者に適正に配分するからこそ良いサイクルが生まれ、働く者はそう信じるからこそ地に足をつけて懸命に努力し、ひたすら頑張れるということを主張し、企業の経営環境に厳しさが深まる今だからこそ、経営として最優先で考えるべきことは「人への投資」であり、このことは間違いなく将来への活きた投資につながるものであるとのスタンスで今次取り組みを確実に前進させなければなりません。

スズキ労連としては、加盟組合間やリード的役割を担うメーカー組合とも連携を密にとりながら、スズキ労連共闘の相乗効果を高めていくと同時に、自動車総連とも情報交換と連携の充実を図り、世論形成やマスコミ対策など、各組合が取り組み易い交渉環境の整備にも努めていきたいと思っています。加えて、この取り組み期間中には、通常国会が開会します。私たちの生活に密接に関わる法律の改正案も審議される見通しです。本日お越しいただいた「はまぐち誠」参議院議員、そして2019年7月に2期目の挑戦をする「いそざき てつじ」参議院議員をはじめ、自動車総連の推薦議員を通じて、私たち働く者に関わる法改正に私たちの声を届け、より安心して働き、暮らすことができる環境を目指す必要があります。

いそざき議員、はまぐち議員の活動については、配布の

資料や、各議員のホームページにも動画でまとめられています。直近では自動車の購入時や車検の時に支払っている自賠責保険料が国の一般会計に貸し出されていることを追及し、10年以上返済がされていなかった保険料の一部、約23億円を繰り戻すことができました。野党の立場ではありますが、私たち働く者、自動車ユーザーの立場で声を届けて、国会で議論をできるのは私たちが推薦する議員だけです。次の参議院選挙でも必ず「いそぎ てつじ」参議院議

員を国政の場に送り出さなければなりません。この後の推薦提案の審議もよろしくお願い致します。

これから始まる2018年総合生活改善の取り組みを、スズキ労連一丸となって、豊かな未来に向けて、そして、より実りあるものとするために、本日の中央委員会にご出席の中央委員全員の積極的な参加と議論をお願い申し上げます。

すべての議件で可決・承認頂きました。

【議件】(提案者)

- ①2018年総合生活改善の取り組み方針(案)の件
(渡部事務局長) 挙手にて可決 **満場一致**
- ②第25回参議院議員選挙(比例代表)候補予定者推薦の件
(中村副会長) 挙手にて可決 **満場一致**



司会：青島中執



渡部事務局長



中村副会長

【報告承認事項】(報告者)

- ①46期中間活動経過報告(渡部事務局長) 拍手にて承認
- ②46期中間会計決算報告(小松副事務局長) 拍手にて承認
- ③46期中間会計監査報告(山本会計監査人) 拍手にて承認



小松副事務局長



山本会計監査人

【来賓挨拶】

自動車総連組織内議員 磯崎 哲史 参議院議員
自動車総連組織内議員 浜口 誠 参議院議員



浜口誠 参議院議員

【顧問挨拶】

スズキ労連特別顧問 加藤 幸博 全国労働金庫協会 専務理事
スズキ労連特別顧問 古川 正明 静岡県労働金庫 理事長
スズキ労連政治顧問 田口 章 静岡県議会議員
スズキ労連政治顧問 徳光 卓也 浜松市議会議員



加藤特別顧問
全国労働金庫協会専務理事



古川特別顧問
静岡県労働金庫理事長



田口章
静岡県議会議員



徳光卓也
浜松市議会議員

【各委員の皆さん】(☆印は委員長)

議長 長：原瀬 実(スズキ労組豊川支部)・
村井 浩子(スズキ部品製造労組)

資格審査委員：☆池島 和晃(スズキ労連中執)・河西 克彦(スズキ労組湖西支部)
清水 司(ベルソニカ労組)・河合 史貴(ファイナンス労組)

議事運営委員：☆浅野 秀和(スズキ労連中執)・佐藤 勇一郎(スズキ部品秋田)
岩島 猛(小楠金属・熱処理)・奥村 直也(スズキ新潟販売労組)

書記：市川 貴子(スズキ輸送梱包労組)・山田 知美(スズキ労連)

司会：青島 智久(スズキ労連中執)



議長団 右)村井中央委員
左)原瀬中央委員

第25回参議院議員選挙(比例代表)組織内候補予定者決意表明

氏名：^{いそぎ てつじ}磯崎 哲史

生年月日：昭和44年4月7日生(48歳)

モットー：辛い時こそ笑顔絶やさない

所属：民進党(現1)

参議院：議院運営委員会理事/環境委員会委員
資源エネルギーに関する調査会委員

民進党：組織委員会委員長代理

参議院国会対策委員会委員長代理

労働組合：全日本自動車産業労働組合総連合会(自動車総連)顧問
全日産・一般業種労働組合連合会(日産労連)顧問



「職場原点」を活動の基軸とし全力で頑張っていく

次期参議院議員通常選挙の組織内候補予定者としてご承認いただき、心より感謝申し上げます。国会議員としての活動は、圧倒的な数の力との戦いであり悔しさの連続でした。しかし、真っ当な指摘や問題定義は、必ずや政府・与党の政策に影響を与えることができると思え、これまでの間、皆様に支えられながら、職場の声、産業の実態を議会で訴え続けてきました。こうした活動によって、少しずつですが提案が実現される経験を積むことができました。今後も働く仲間の皆様と家族の安心のために、「職場原点」を活動の基軸とし全力で頑張る所存です。

1985年より通算
100台を寄贈

2017年度自動車総連福祉カンパ 昨年3台の寄贈を実施致しました。

スズキ労連分の2017年度車両寄贈をすべて行うことが出来ました、なお、1985年より続けて参りました車両寄贈は、スズキ労連実施分が通算100台となりました。ご協力を頂きました皆様ありがとうございました。

ソリオハイブリッドを大分県「フロンティアなかつ」に寄贈

2017年11月9日(木)に、大分県中津市にあります社会福祉法人みどり会「フロンティアなかつ」にて小型車スズキソリオハイブリッドの車両寄贈式を行いました。「フロンティアなかつ」さんは、障がいのある方の就業支援施設です、施設内で軽作業を利用者に行っていた就業につなげてもらう事業をしています。利用者さんの中には30km離れたところから送迎されている方もおり、ソリオハイブリッドの寄贈を大変喜んでいただきました。



ソリオG(4WD)を山形県「スマッシュ長沢」に寄贈

2017年12月1日(金)に、山形県最上郡にあります 特定非営利活動法人がみ福祉ネットスマッシュ長沢にて小型車スズキ ソリオG(4WD)の車両寄贈式を行いました。「スマッシュ長沢」さんは、障がいのある方の就業支援施設です、施設内で軽作業を利用者に行っていた就業につなげてもらう事業をしています。山形県北部の豪雪地帯ということもあり『生活の足である自動車』の寄贈を大変喜んでいただきました。



スペーシアX福祉車両を浜松市「きらら浜松」に寄贈

2017年12月21日(木)に静岡県浜松市にあります(福)県民厚生会 高齢者福祉施設「きらら浜松」にて軽自動車スペーシアX福祉車両の車両寄贈式を行いました。「きらら浜松」さんは、高齢者デイサービス等の事業を行っております。加えて、近隣の住民の皆様へ施設の一部をカフェスペースとして開放し、地域に根ざした活動を行っています。スペーシアXが、利用者の通所に大変便利と喜んでいただけました。



賃金について学ぼう

スズキ労連賃金セミナーを開催

2017年12月16日(土)SUN会館3Fにてスズキ労連46期賃金セミナーを開催しました。加盟組合の組合役員64名(男性59名、女性5名)の参加をいただきました。講師に公益財団法人日本生産性本部 村上 和成様を迎え、人事賃金制度の構造や歴史の変遷、個人別賃金と個別賃金の違い、プロット図を用いたの講義を受けました。参加者からは、「プロット図などの見方が理解できるようになりました。」「春の取り組みに向けて役立つと思いました。」「賃金の仕組みや、組み立て方が理解できました。」など、これから始まる総合生活改善の取り組みに向けて理解を深めることができたという意見が多くありました。今後も組合役員向けのセミナーを開催していきたいと思っております。



講師：公益財団法人 日本生産性本部
雇用システム研究センター
センター副所長 村上和成 氏

変えるのも人、変わるのも人

マスターコース研修会を開催

2018年1月20日(土)SUN会館3Fにてスズキ労連マスターコース研修会を開催しました。加盟組合の組合役員85名(男性78名、女性7名)の参加をいただきました。

プログラム①〈基調講演〉

労働組合を変えよう！
～変えるのも人、変わるのも人～
2004年に執行委員になった時から組織や活動の変革に取り組みだしてきた石井氏の体験を事例紹介いただきました。



講師：電機連合NECグループ
労働組合連合会 日本電気労働組合
中央執行委員長 石井隆之 様

プログラム②〈講義〉

実践ワークライフバランス・
ダイバーシティー・マネジメント
1. 成功するダイバーシティー・マネジメント
2. ワークライフバランスを進める必要性などを学びました。



講師：内閣府
地域働き方改革支援チーム
東し経営研究所 瀧美由喜 様

どんなことでもOK!
お気軽にご相談下さい。

スズキ労連
労働相談
窓口

仕事、職場、労働条件、コンプライアンス、人間関係、私生活…
悩みはいろいろあるけれど、職場ではちょっと相談しにくいなあ。

こんな時にはお電話を!

0120-500-073
*月～金 9:00～18:00
相談無料・秘密厳守

【スズキ労連】 機関誌に対するご意見・ご要望が
ございましたら編集部までお気軽にお寄せ下さい。

編集部 〒432-8062 浜松市南区増楽町20
TEL.053-447-3079 FAX.053-440-2838
e-mail : komatsu@suzuki-union.or.jp

◇スズキ労連ホームページ◇
<http://saw.gogo.tc/>
*スズキ労連の福利厚生・スズキ労連機関紙
共通パスワード… saw2007

【編集後記】
2月3日は節分です。節分とは、「節(季節)」を「分ける」ということで、季節の分かれ目を意味します。元々は立春、立夏、立秋、立冬の前日を指しましたが、現在は「立春の前日」を意味します。「季節の変わり目は、邪気が入りやすい」という考えのもとに行われ、現在もその名残として残っているのが「豆まき」です。豆は「魔滅(まめ)」に通じ、無病息災を祈る意味があるとされています。あと少し我慢すれば暖かい春が来ます体調に気を付けて乗り切りたいものです。 まーつー